



石狩川河口の家(北海道石狩市聚富本通) 1967年

向井潤吉 初期の作品から民家まで

2001年1月4日[木]→3月25日[日]

開館時間=午前10時～午後6時〈入館は5時30分まで〉

休館日=毎週月曜日〈ただし祝日と重なった場合は翌日〉

観覧料=一般200円(160円) 大高生150円(120円) 中小生100円(80円)

65歳以上及び障害者の方100円(80円) ()内は20名以上の団体料金



婦人像(若き女の顔) 1928年

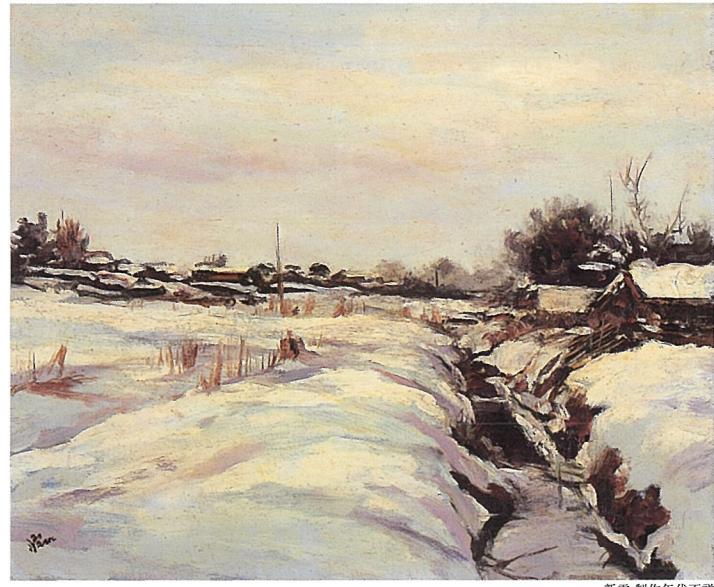
世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL 03-5450-9581



セーヌ風景(パリ風景) 1928年



新雪 制作年代不詳

向井潤吉 初期の作品から民家まで

向井潤吉先生は、1995年（平成7年）に93歳で逝去されました。それから6年を経た今年は、その生誕100年を迎える節目の年です。向井先生もまた、激動の20世紀を生きてこられた人であり、画家であったわけです。

長い伝統が息づく京都に生まれ、そして若き日にはパリで学んだ先生は、先の大戦では軍の委嘱を受け、戦争記録画の制作にも従事されました。そして戦後まもなく、先生は生涯を通して取り組む題材として、草屋根の民家を見いたしました。



不詳(民家) 制作年代不詳



不詳(田植え) 制作年代不詳



春山遠望 制作年代不詳

高度経済成長の荒波の中で、次々にその姿を消していく草屋根の民家を求める旅は、およそ40年間に及んでいます。そのじつに長きにわたる制作活動によって、約2,000点を越える民家を題材とした作品が、先生の手によって描かれたと推測されています。

このたびの展覧会では、めまぐるしく変遷していく社会状況の中で、先生が草屋根の民家という題材に巡り会うまでの創作の軌跡と、収蔵作品のうちでも、これまでの展覧会ではあまりご紹介する機会のなかった作品、また新たな収蔵作品を中心にご紹介いたします。

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL 03-5450-9581

●最寄り交通機関のご案内

- 東急田園都市線【駒沢大学】駅 西口 下車/徒歩10分
- 東急世田谷線【松陰神社前】駅 下車/徒歩17分
- 東急バス(渋05) 渋谷～弦巻営業所 【駒沢中学校】 停留所下車/徒歩3分
- 東急バス(等11) 祖師谷折返所～等々力【駒沢三丁目】 停留所下車/徒歩3分
- 東急バス(渋11) 渋谷～田園調布 【駒沢大学駅前】 停留所下車/徒歩10分
- 東急バス(渋12) 渋谷～二子玉川 【駒沢大学駅前】 停留所下車/徒歩10分



* [] は案内看板の位置です。